

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立新見高等学校		
実践者等	水島 優	実践日	令和3年5月14日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	数学A		
対象生徒(学年等)	普通科1年		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	集合の要素の個数		
使用したアプリ等	Google Forms Apple 純正アプリ「クラスルーム」と「メモ」		
実践の概要(ねらい等)	生徒へのアプリ使用の指示、生徒解答の全体共有及びグループ協議での活用		
実践の内容			
<p>(1) 前時の内容の小テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> プリントで配布した問題(数値だけ求める問題)の解答を Google Forms に回答し、リアルタイムで正答率を確認し、生徒たちとも確認。 <div style="text-align: right;"> <p style="text-align: center;">生徒の回答が一目で分かる</p> </div> <p>(2) 本時の内容を説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 集合が2つある場合の和集合の要素の個数の求め方は学んでいる。これが集合が3つになった場合、どのように要素の個数を求めることができるかを考えさせる。 <p>○生徒への提示した目標</p> <p>「$n(A \cup B) = n(A) + n(B) - n(A \cap B)$と同様に、$n(A \cup B \cup C)$の公式を自分で作ろう」</p> <p>(3) ベン図を板書し、ベン図を用いて考えるように指示</p> <ul style="list-style-type: none"> Apple 純正アプリ「クラスルーム」を用いて、生徒全員の iPad の「メモ」アプリを一斉に開かせることができる。また、そのアプリを固定することも可能(そのアプリ以外のアプリを開くことができないようにする)。 メモを開かせ、自分の考えを手書きで記入させる。教員は Apple 純正アプリ「クラスルーム」を用いれば、どの生徒がどのような考えをして記入しているのか一覧で見ることができる。 <div style="text-align: right;"> </div> <p>(4) 教員の iPad をプロジェクターに AppleTV を用いてミラーリングし、正解を導き出した生徒の解答を Apple 純正アプリ「クラスルーム」を用いて、生徒に提示する。</p> <p>(5) 教員が解説をし、まとめを行う。</p>			
参考となる HP 等			